

2026 年度 瀬戸蔵ミュージアム 展覧会スケジュール

資料 4-2

2026. 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2027. 1	2	3	4
企画展示室	新出土品展 尾張旭市・長久手市・日進市の窯跡調査の記録			(仮称)新収蔵品展				(仮称)瀬戸の電磁器				新出土品展
中央通りギャラリー	天草のやきもの			愛知県陶磁器技能士会展				土の詩 - 愛陶工陶芸部会展 -				むかしの道具展
旧尾張瀬戸駅舎内												

2026/1/31(土) - 2026/6/28(日)

休館日：4/27, 5/25, 6/22

企画展示室

新出土品展

尾張旭市・長久手市・日進市の窯跡調査の記録



《はそう》
丁子田 1 号窯跡出土(飛鳥時代)
長久手市教育委員会蔵

(公財) 瀬戸市文化振興財団では、瀬戸市外の市町の発掘調査も行ってきました。本展では、日進市、長久手市、尾張旭市における発掘の成果を紹介いたします。

2026/3/14(土) - 2026/6/14(日)

休館日：4/27, 5/25

中央通りギャラリー

天草のやきもの

天草は陶石だけではなく陶土にも恵まれ、17 世紀頃から陶磁器が生産されてきました。本展では、天草陶磁器の島づくり協議会加盟の窯元 12 軒で制作された作品を展示します。陶器そして磁器の様々なジャンルの作品を展示し、「現在の天草のやきもの」を紹介いたします。



水の平焼

2026/7/4(土) - 2026/9/27(日)

休館日：7.27, 8/24

企画展示室

新収蔵品展 2023-2025

当館では開館以来、瀬戸および瀬戸焼に関する作品・資料の収集を行ってまいりましたが、その多くは市民の皆様よりご寄贈いただいたものになります。本展では、2023 年から 2025 年までに新たに収蔵した作品・資料を展示公開します。

《染付上絵香炉》
伝 初代加藤民吉作
文化年間(1807 ~ 1818)



2026/6/20(土) - 2026/10/4(日)

休館日：6/22, 7.27, 8/24, 9/28

中央通りギャラリー

愛知県陶磁器技能士会展

愛知県陶磁器技能士会は、昭和 56(1981)年に設立された団体です。手ロクロ、上絵付、下絵付、原型製作といった技能士たちの作品を展示します。

2026/10/3(土) - 2027/2/28(日)

休館日：10/26, 11/16, 12/21 ~ 23, 12/28 ~ 1/4, 1/25 ~ 27, 2/22

企画展示室

(仮称)瀬戸の電磁器

近代に入ると電気という新しいエネルギーを安全に運ぶための絶縁体として磁器製の「電磁器」が使われます。瀬戸においては、明治 6 年(1873)に二代加藤左衛門が、工部省通信寮へ電信用碍子を納入したことが始まりとされています。以降、瀬戸では様々な電磁器がつくられ、現在でも多くの電磁器製造会社が集積する産地は他では見られません。本展では、100 周年を迎える愛知県陶磁器工業協同組合の工業品部会に協力を仰ぎ、瀬戸の電磁器を紹介いたします。



《ブルスイッチ・ローゼット》
大正時代 ~ 昭和時代

2026/10/10(土) - 2027/1/17(日)

休館日：10/26, 11/16, 12/21 ~ 23, 12/28 ~ 1/4

中央通りギャラリー

土の詩 - 愛陶工陶芸部会展 -

愛知県陶磁器工業協同組合陶芸部会に加盟する会員による作品展です。織部や黄瀬戸、馬の目皿といった瀬戸の伝統的なやきものから、作家の創造力が活かされた作品まで幅広いジャンルの様々な作品をご覧ください。



《過去の展示風景》

2027/1/23(土) - 2027/4/18(日)

休館日：1/25 ~ 27, 2/22, 3/15, 4 月は未定

中央通りギャラリー

むかしの道具展

江戸時代から昭和時代のくらしの中の様々な場面で使われた昔の道具を展示します。会場では「灯の道具」「暖を取る道具」「はかる道具」などテーマに分け、現在では、あまり見られなくなった「むかしの道具」を展示します。

2027/3/6(土) - 2027/6/27(日)

休館日：3/15, 4 月・5 月・6 月は未定

企画展示室

新出土品展

(公財) 瀬戸市文化振興財団は、これまでに様々な時代に営まれた遺跡や窯跡の発掘調査を実施してきました。本展では、近年発掘調査を行った遺跡や窯跡などの最新の調査成果を紹介いたします。

2026/4/17(金) - 2027/4/15(木)

休館日：瀬戸蔵ミュージアムに準じます

旧尾張瀬戸駅舎内

せとでん 外壕線廃止から 50 年

かつての「せとでん」は、せとものを運ぶ路線として終点は堀川運河へと至っていました。特に土居下駅から堀川駅までの区間は名古屋城のお壕の中を走ったため「外壕線」と呼ばれていました。しかし、貨物輸送の減少により 1976 年(昭和 51)外壕線はその役目を終えます。今年は、外壕線廃止から 50 年の節目の年であるため、当時の風景が記録された写真を展示し、在りし日の外壕線を振り返ります。



《カントレットを通過するク 2320 形》
1975 年(昭和 50) 撮影：山田司

2026/4/17(金) - 2027/4/22(木)

休館日：ノベルティ・こども創造館に準じます

ノベルティミュージアム

(ノベルティ・こども創造館内)

「小鳥のさえずり」「ノベルティのコンサート」

「ハロウィン」「クリスマスのノベルティ」

「干支のウイスキーボトル(未)」「ピエロ」

当館収蔵品のノベルティを年 6 回、テーマごとに展示

瀬戸蔵ミュージアム

SETO-GURA MUSEUM

〒489-0813 愛知県瀬戸市蔵所町 1-1

TEL 0561-97-1190

E-Mail setoguramuse@city.seto.lg.jp

URL https://www.city.seto.aichi.jp/docs/2011/03/15/00092/

